

# 持続可能なみやざきの 物流構築のための 総決起大会

「2024年問題」という変革(ピンチ)をチャンスに捉えて!

日時

令和5年8月31日(木)

開催会場

宮崎観光ホテル 碧翠耀の間

主催：一般社団法人 宮崎県トラック協会

共催：宮崎県



【後援】

国土交通省九州運輸局宮崎運輸支局、厚生労働省宮崎労働局、農林水産省九州農政局、(公社)全日本トラック協会  
(一社)宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、(一社)宮崎県工業会  
宮崎県経済農業協同組合連合会、宮崎県地域婦人連絡協議会、(一社)宮崎県農業法人経営者協会、  
運輸労連宮崎県連合会

【参加協力機関】

(一社)宮崎県建設業協会、宮崎県森林組合連合会、宮崎県木材協同組合連合会、宮崎県漁業協同組合連合会  
(公社)宮崎県畜産協会、(一社)宮崎県養鶏協会、(一社)宮崎県配合飼料価格安定基金協会、宮崎カーフェリー(株)



## 1. 大会開催趣旨

本県のトラック運送業界は、「生活（くらし）と経済のライフライン」として、県民の暮らしを守り、県内産業や経済活動を最前線で支えるため、エッセンシャルワーカーとしての使命感を持って、本県の基幹産業である農林水産業や製造加工業等の大切な農産物・加工製品等を全国各地にお届けしている。

また、県内物流においても日用雑貨をはじめ、県産材・建設資材・家畜飼料・石油製品等の運搬や消費者に身近な宅配・引越輸送など様々な営業用トラックが活躍している。

しかし、2024年4月からトラックドライバーの時間外労働上限規制等による働き方改革が求められる中、労働時間の縮減や価格転嫁など物流業界が抱える諸課題等に対し、運送事業者のみならず、荷主企業や消費者等を含めたサプライチェーン全体の問題として「共有」し、関係者が連携・協力して付加価値向上や稼げる力を高める「共創」により、将来にわたり持続可能な物流の実現に繋げることが必要不可欠である。

そこで、県内のトラック運送事業者はもとより、荷主企業や一般消費者をはじめ、関係行政官庁や関連業界・団体等が一堂に会し、「2024年問題」への対応に向け、各関係者相互の連携や物流基盤等の強化を図りながら、「県民一体となった持続可能なみやざきの物流輸送サービスの構築」とともに、「本県の産業・経済の更なる発展を目指す気運を醸成する」目的で、総決起大会を開催する。

## 2. 大会次第

《司会進行 フリーアナウンサー 西田 裕子》

時間	項目	内容
13:30～	① 開会	(一社)宮崎県トラック協会 副会長 増田 哲
13:32～	② 主催者挨拶	(一社)宮崎県トラック協会 会 長 牧田 信良
13:35～	③ 共催者挨拶	宮崎県知事 河野 俊嗣 様
13:40～	④ 来賓・後援機関・団体の紹介	〈表紙の後援機関・団体参照〉
13:45～	⑤ 持続可能なみやざきの物流イメージ動画のお披露目	(一社)宮崎県トラック協会制作
13:55～	⑥ 講演(第一部:30分) ○我が国の物流の革新に向けた取組みの動向	国土交通省 自動車局 貨物課長 小熊 弘明 様
14:30～	⑦ 講演(第二部:90分) ○「2024年問題」を克服し、持続可能な物流サービスを構築するために!	物流ジャーナリスト、日本物流学会会員 森田 富士夫 様
16:10～	⑧ 大会共同宣言	(荷主企業代表) 宮崎県経済農業協同組合連合会 園芸部 部長 押川 和範 様 (運送事業者代表) 株式会社キング運輸 取締役運輸部長 山下 敬雄 様 (消費者代表) 宮崎県地域婦人連絡協議会 副会長 神谷 則子 様
16:20～	⑨ ガンバロー三唱	(一社)宮崎県トラック協会 引越専門部会長 太田 直久
16:25～	⑩ 閉会	(一社)宮崎県トラック協会 副会長 和田 憲明





# 持続可能なみやぎきの物流構築に向けた共同宣言

物流は生活（暮らし）や経済活動を支える不可欠な社会インフラです。しかし、「物流の2024年問題」を契機に、顕在化したドライバーの長時間労働の実態や燃油価格高騰など、厳しい経営環境が続いている物流業界の課題は深刻化しており、これらが人手不足の原因となり、輸送能力の低下が懸念される事態を招いています。

物流が停滞・途絶することは、宮崎の農畜産物や工業製品などを県内外に円滑に輸送できず、外貨の獲得に支障をきたすことに繋がるため、本県の産業や経済を維持するためにも回避しなければなりません。

将来にわたって物流を安定的に維持・確保していくためには、県内の運送事業者はもとより、荷主企業や消費者が一致協力して、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直面している諸課題に取り組むことが、今、求められています。

私たちは、関係者の総力を結集し、持続可能なみやぎきの物流構築に向けて全力で取り組むことを、ここに宣言します。

## ◎ 荷主企業の取組として

1. 物流にかかる構造的なコストを理解し、パートナーである運送事業者と協力して持続可能な物流の実現を目指します。
1. トラックの発着時の体制を整え、荷待ちや荷役作業時間の縮減とともに、荷物の到着日時の弾力化等に努めます。
1. 運送事業者と連携して、生産性向上や物流の効率化に取り組み、県内産業の振興と物流全体での共存共栄を目指します。

## ◎ 運送事業者の取組として

1. 荷主企業と連携した物流の省力化等により、ドライバーの負担軽減に努めます。
1. 荷主企業、運送事業者の双方において、非効率な商慣行の見直しを行い、適正な取引環境のもとで、効率的な輸送サービスの実現を目指します。
1. 荷主企業の大切な貨物の運送に当たっては、安全で安心できるトラック輸送を実現するため、交通安全等の法令順守や環境保全・省エネ対策等に努めます。

## ◎ 消費者の取組として

1. 物流が日夜を問わず私たちの生活を支えていることを意識し、物流を維持していく上で適正な送料や納期について、理解を深めます。
1. 宅配便の再配達削減や、高速道路のサービスエリア及び道の駅等の休憩用の大型車駐車スペースを空けるなど、普段の生活の中で出来る物流への負担軽減に取り組めます。
1. 持続可能な物流の実現のために努力している荷主企業や運送事業者を応援します。

## ◎ 全体

- ・私たちは、「2024年問題」を乗り越えるため、お互いが抱える課題等を「共有」し、労働時間の縮減や適正なコスト負担など、サプライチェーン全体で協力して取り組みます。
- ・私たちは、産地等における関係者が連携・協力して付加価値向上や稼げる力を高める「共創」により、物流に従事する人々が働きやすい環境の整備や物流の効率化を実現します。
- ・私たちは、「2024年問題」という大きな変革をチャンスと捉え、宮崎の産業活動や経済が元気であり続けるために、将来にわたって持続可能なみやぎきの物流を実現します。

令和5年8月31日

(荷主企業代表)

宮崎県経済農業協同組合連合会 園芸部 部長 **押川 和範**

(運送事業者代表)

株式会社キング運輸 取締役運輸部長 **山下 敬雄**

(消費者代表)

宮崎県地域婦人連絡協議会 副会長 **神谷 則子**



